

会 議 録

1 会議名

平成30年度第3回谷浜・桑取区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【協議事項】

(1) 平成30年度地域活動支援事業（追加募集）について（公開）

(2) 地域活動支援事業の検証について（非公開）

3 開催日時

平成30年7月24日（火）午後6時30分から午後7時47分

4 開催場所

上越市立谷浜・桑取地区公民館

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

議題（2）については、「意思形成過程の事項」を審議するため非公開とします。

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・委員： 高橋誠一（会長）、安達ユミ子（副会長）、佐藤寿美子、佐藤峰生、
荷屋和夫、樋口清和、平野宏一、横田正美（欠席4名）

・事務局： 北部まちづくりセンター：滝澤センター長、小池係長、千田主任

8 発言の内容

(1) 開会

【滝澤センター長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

(2) 会長あいさつ

【高橋会長】

・挨拶

・会議録の確認：荷屋委員に依頼

(3) 議題【協議事項】平成30年度地域活動支援事業（追加募集）について

【千田主任】

- ・資料No.1「平成30年度 谷浜・桑取区地域活動支援事業（追加募集）提案書受付一覧」に基づき説明

【高橋会長】

事務局の説明を受け、提案No.1から順に各委員の意見等の質疑を求める。

最初に「No.1 農地の獣害対策事業」について、質疑を求める。

【安達副会長】

鳥獣被害は多くなってきているが、実際にはどれくらいの被害が出ているのかが分からない。その中で提案されているカメラを設置することで鳥獣の行動等が分かれば地域住民の方々にとっては良いのではないかと。

【高橋会長】

情報収集のツールの一つとして使えるのではないかと考えている。たにはま公園でも市がカメラを設置し調査を行っており、詳しい結果は聞いていないが、写真等で捕獲されているのを確認した。

カメラを提案団体の方々が設置するのかと考えていたが、提案団体で管理し、借りた方々が今までの経験から良い場所を考え設置し情報提供を行うという内容であった。だが、その情報をどのようにしてほかの方々へ伝え、活用していくかという課題はあるが、ほかの皆さんはどうか。

【荷屋委員】

地域活動支援事業として提案するためには活動を伴わなくてはならない。提案書を見るだけでは、購入するだけで団体の活動が見えてこない。本来であれば農業協同組合（以降、JAと表記）という組織がある中で、まずはJAの方々が先頭に立ち物事を進めていき、その結果、農家の方々にも設置していただきたいので提案するという話であれば納得できる。センサーカメラは金額も安い物ではなく、維持管理も大変ではないか。

【高橋会長】

私も最初はそう思っていたが、提案書を見ると町内会へも情報提供することとしている。そう考えると情報を共有していくという意味では意義があるかと思うが、得た情報をどのように使っていくかは検討の余地がある。場合によっては、子ども達の通学路にPTAの方々から設置してもらい、子どもの安全を守るというようなことも可能なの

ではないか。考え方によってはいろいろな使い方ができる。

【安達副会長】

センサーカメラを使って鳥獣の生態調査を行っている地区が市内でいくつかあると思うが、どのようなところが主体となって行っているのかを知りたい。

【滝澤センター長】

担当課へ確認してみるが、提案団体も把握していると思うのでヒアリングの際に確認していただければと思う。

センサーカメラの貸出先についてだが、現在、農家組合員にしか貸し出さず、ほかの団体等への貸出は考えていないとのこと。活用方法等も含めヒアリングで確認していただきたい。

【平野委員】

私は提案団体の代表を務めているが、センサーカメラを設置することが初めてで、どうなるのかが全く分からない。だが、センサーカメラを設置することで鳥獣の動きが分かれば猟友会へ情報提供をするという話を団体内でしている。

【高橋会長】

先日、市から、たにはま公園から城ヶ峰へ行く道に檻を設置したという連絡をいただいた。市が管理していくということだったが、市としても対策は考えていると思う。

ほかに意見等はなく、疑問等があればヒアリングの際に再度確認していきたい。

次に「No.2 地域一体型体育祭事業」についてだが、支出でテントのリース代が入っている。以前、テントを購入したことがあり、学校に保管されていると思うが、その辺を確認していただきたい。

【荷屋委員】

以前、地域活動支援事業で購入したテントだけでは足りないから今回提案したのかと思ったが、その辺はどうなのか。以前購入したもので足りるのであればそちらを使っていただきたい。

【千田主任】

以前に購入したものだけでは足りないということで今回提案されている。

【荷屋委員】

「くわどり湯ったり村」にも地域活動支援事業で購入したテントがあるのではないかと。

【佐藤寿美子委員】

テントはある。

【荷屋委員】

それを使えば良いのではないか。

【横田委員】

提案ではリースになっているので、毎年リース代が掛かってくるのではないか。

【高橋会長】

今後も地域と一緒にやって行い、恒久的に必要ということであれば計画的に考えていただきたいし、ほかの団体へも貸出等をしている団体があれば、そこから借りるということもできると思う。ヒアリングの際に確認したいと思う。

ほかにも、今まで地域活動支援事業で整備した備品等があると思うので整理していきたい。

【安達副会長】

「地域一体型体育祭」だが、参加の呼び掛けがどの程度なのか。地域全体にPRしているのか。

【佐藤寿美子委員】

回覧板は回ってきていたが、参加者の欄は空欄だった。

【横田委員】

私の集落は子どもが少ないので、子どもがいる家庭だけが出るのではないか。

【安達副会長】

町内会長が学校後援会の役員に入っているから、何か働き掛けがあるのではないか。

【佐藤峰生委員】

回覧の書類が来ただけである。だが、今年是对応が早かったと思う。

【安達副会長】

子ども達は一所懸命である。子ども達の一所懸命さが学校後援会の役員等に伝わっているのかが心配である。

【高橋会長】

では、ヒアリングの際に聞いていきたいと思う。

次に「No.3 城ヶ峰砦・長浜砦の景観保全事業」についてだが、荷屋委員が団体の代表をされているため質問するが、今回は全体の何パーセントくらい砂利を敷くのか。

【荷屋委員】

50パーセントくらいを予定している。

【佐藤寿美子委員】

城ヶ峰砦には年間、どれくらいの人があるのか。

【荷屋委員】

数えてはいないが、土日になると来られる方が多い。

【佐藤峰生委員】

整備をきちんとしていただけているのでPRもお願いしたい。

【高橋会長】

楽しく歩いているのを見れば、桑取地域に来られた人たちにも寄ってもらえるのではないかな。

【安達副会長】

上越市には砦を載せたマップはないのか。

【荷屋委員】

マップは作っていただいている。

【高橋会長】

春日山からの道がきちんと整備されればトレッキングも可能なのではないかな。

【荷屋委員】

将来的には桑取と春日山、両方から登られるようになれば良いと思っている。

【佐藤寿美子委員】

トイレを造ったほうが良いのではないかな。

【荷屋委員】

会の中でもトイレを造ろうと計画したが断念した経緯がある。

【高橋会長】

中桑取の町内会館のトイレを開放するのも良いのかもしれない。

ほかに意見等がないので終了とする。

次に「No.4 幼年野球を通じた地域活性化、青少年の健全育成事業」についてだが、子ども達のモチベーションを上げるためには新しいユニフォームで試合を行うということも良いのではないかなと思っており、今着ているユニフォームも6年前に当事業で採択し、購入したもので古くなっていると思う。

【荷屋委員】

メンバーは何人くらいいるのか。

【千田主任】

12人である。

【高橋会長】

子ども達を応援するという意味も込めて前向きに検討していきたい。

内容については皆さんで精査していただき、何かあればヒアリングの際に確認していただきたいと思う。

次に「No.5 川と遊ぶニジマス釣り体験事業」については、今の時代、子どもたちが生きた魚に触れるという機会は少ないと思うので、触れられる機会を設けることはとても良いことだと思っている。

【安達副会長】

昨年も提案されているが、ニジマスは同じ量か。

【千田主任】

そうである。

【樋口委員】

資料No.1の「事業内容の概要」に『子どもたちと地域住民の交流を促進させるとともに』と記載されているが、そういう実態はないのではないか。

【滝澤センター長】

資料No.1の事業内容の概要を記載したのは事務局である。事業の目的や効果は提案書を見ていただければと思う。

【高橋会長】

提案者である青少年健全育成会自体も長年活動していただいているが、区毎に温度差もあるようだ。他区から見れば早くから活動していただいているところは評価すべきである。

ほかに意見等はないので終了とする。

次に「No.6 『くわどり謙信公トレイル大会』を通じた地域活性化事業」についてだが、このトレイル大会が谷浜・桑取区の目玉行事となればと思っている。

今後も継続していくとなると、駐車場整理やコースの誘導員などは、これからも必ず掛かってくる経費である。レースについては主催者で行い、おもてなしの部分を地域の実行委員会で行っている。経費についての線引きはきちんとしていただきたい。

【樋口委員】

旧桑取小学校のグラウンドを臨時駐車場として利用することになっているようだが、事前に教育委員会へ申請してあるのか。

【佐藤寿美子委員】

許可は取っているのではないか。

【安達副会長】

提案書の支出の部で「バス借上料」とあるが、誰が乗るのか。

【佐藤寿美子委員】

私が住んでいる桑取地域のイベントなので知っている範囲で回答するが、25kmを走る選手たちが旧桑取小学校に車を止め、そこから「くわどり湯ったり村」まで行くためにバスに乗車する。

【樋口委員】

生産性がないので疑問に感じてしまう。当事業については、同じようなやり方で続けていくと思うが、地域活動支援事業も続くかどうかというのは全く分からない。

【佐藤寿美子委員】

昨年支援していただいた部分を見直し、今回、必要な経費を提案しているとのことだが、地域活動支援事業がなくなった場合のことについて、具体的に考えていないと思う。

【安達副会長】

支出の部で「司会進行出演料」とあるが、会場を盛り上げていただくために提案者側からお願いしたということか。

【滝澤センター長】

そうである。

【安達副会長】

桑取地域の人が参加者をもてなそうということをしなければ、参加者の方々は走って帰ってくるだけということか。

【滝澤センター長】

提案団体の方々はおもてなしをするために組織された団体であり、レースは別である。

【高橋会長】

トレイル大会は業者がどこまで経費を出しているかが分かりづらい点があるため、きちんと打ち合わせをしていただきたい。

トレイル大会で配られる水は主催者側の経費から出ているのか。

【佐藤寿美子委員】

主催者側からは何も出ないので、地元で用意している。

【荷屋委員】

当事業については、レース参加者のためにお金を使っており、地元が潤わない。それでは、あまり意味がないと思っている。

【佐藤峰生委員】

参加者に桑取地域や「くわどり湯ったり村」のことを知ってもらい、リピーターを増やすという狙いもあると思う。

【荷屋委員】

将来的に地元が潤うように行わないといけない。

【佐藤寿美子委員】

今年は谷浜地域の方々にも声掛けをし、協力していただけないかという話はした。将来的には、城ヶ峰から春日山に行けるコースも作りたいという話が出ている。

【高橋会長】

提案団体は昨年が発足したばかりであるため、経費の部分は不十分な点があるし、地域活動支援事業がなくなれば、谷浜・桑取振興協議会や谷浜観光協会等から費用を集めながら遂行していかないといけないと思う。

昨年、私の同級生もホームページを見て神奈川県から参加してくれた。見てくれる人は見てくれる。

【横田委員】

ホームページの作り方も上手である。

【佐藤寿美子委員】

プロの方々が作っている。

【高橋会長】

主催者は事業が成り立つ場所があればどこへでも行くのだと思う。

【佐藤寿美子委員】

主催者は県内でも何か所かでトレイル大会を行っているので実施の仕方を分かっている。

【高橋会長】

主催者は桑取地域が良い場所であると評価をしていると思う。

【佐藤寿美子委員】

今年は市内の全小・中学校にポスターを貼らせていただき呼び掛けを行っている。

【佐藤峰生委員】

参加者だけではなく、当区以外から観客が来ることになる。当事業を継続していき地元を盛り上げていただきたい。

【高橋会長】

それでは当事業については以上で終了とする。

他に意見がなければ、以上で全体協議を終了とする。

【協議事項】（２）地域活動支援事業の検証について

非公開

（４）その他

【千田主任】

・次回協議会：８月７日（火）午後６時３０分～

【高橋会長】

今回は地域活動支援事業の採択審議を予定しているが、予算が超過しており、その部分をどのようにしていくかを皆さんで協議していきたいと思う。

・会議の閉会を宣言

９ 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 北部まちづくりセンター

TEL：025-531-1337

E-mail：hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。